

【3年学年経営方針】

1 目 標

- (1) 伝統ある邑知中学校の最高学年としての自覚を促し、責任と実行力を持った生徒を育成する。
- (2) 達成感と自己充実感を体験する中から前向きな生活を送り、よりよく生きようとする心を育てる。
- (3) 将来の夢と自己実現に向けて継続的、計画的な学習を支援し、主体的に進路を決定する力を育てる。

2 経営方針

- ・中学校生活の最終学年として学習や部活動、生徒会の諸活動に積極的・意欲的に取り組む姿勢を育てる。
- ・生徒一人ひとりが輝いて活動できるよう、認め合い支え合う集団づくりに努める。
- ・実りある将来に向けて、それぞれに合った進路を選択・決定し、その実現ができるよう支援する。

3 具体的な指導・支援

(1) 学習指導

- ・継続的、計画的な取り組みで基礎・基本の確実な習得・習熟を図る。
- ・自分の考えを、根拠を示しながら筋道を立てて表現する力を養い、活用力が身につくように指導する。
- ・個に応じた学習指導に努め、学習意欲の向上を図る。
- ・家庭との連携を進め、見通しをもった家庭学習を支援する。

(2) 生徒指導

- ・基本的な生活習慣を確立し、規律ある集団生活を送ることができるよう指導する。
- ・一人ひとりが持つ良いところに目を向け、個人の尊厳を守り人権を大切にした仲間づくり、集団づくりを進める。

(3) キャリア教育

- ・自分の特徴や適性を知り、自己理解を深めたりうえで主体的に自分の進路を考え、自分の夢を実現しようとする態度を育成する。
- ・進路に関する最新かつ正確な資料の収集に努め、進路学習に活用する。
- ・高校説明会、体験入学、懇談会等を通して適切な進路の選択・決定を促す。

(4) 特別活動

- ・修学旅行など学校行事を体験するなかでリーダーを育て、互いに高め合う集団づくりに努める。
- ・学級の班活動、生徒会専門委員会など生徒自らが主体的に活動する体験を通して、最上級生として学校を創り上げていくことの自覚を高める。

(5) 学年会

- ・毎日の学年打ち合わせを有効活用し、教職員相互の共通理解を十分図る。
- ・常に学年全体の生徒を視野に入れながら指導にあたる。
- ・校訓「らしくあれ」を念頭におき、教師自らも教師らしい態度で生徒に接する。